

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内大字名）	作成年月日	直近の更新年月日
橋本市	信太地区 （田原、九重、上中、下中、嵯峨谷、竹尾）	令和3年3月5日	—

1. 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	182ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	125ha
③ アンケート調査等に回答した地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	83ha
うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	55ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.96ha
（備考）	

2. 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ○70歳以上の農業者が所有する農地が非常に多く、高齢化が進み後継者がいない。 ○子がいる場合であっても、他集落・他地域に居住していることが多く、農地を受け継ぐことが困難で耕作放棄地となるケースがある。 ○鳥獣害の被害が多い。 ○個々の農地が狭く、大型機械での作業が難しい。 ○傾斜地の農地が多く、農作業に時間と労力がかかる反面、販売単価が安く農業経営が成り立たない。

3. 対象地区内における中心経営体や意欲的な農業者への農地集約に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ○耕作放棄地になる恐れのある農地は、地区内の意欲的な農業者が中心となって担う。 ○他地区からの農業者の受入れを促進する。 ○道路沿いにあるなどの耕作条件の良い農地は、農地中間管理事業の活用を図る。 ○今後も将来農業について話し合える場を作り、人・農地プランに反映させていく。
--

4. 3の方針を実現するために必要な取り組み（任意記載事項）

<p>（農地中間管理機構の活用方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の経営農地の集約化を目指し、耕作放棄地になる恐れのある農地は農地中間管理機構の活用を図り、地区内および他地区からの意欲的な農業者の受入れを促進する。 ○耕作放棄地にならないように守っていく農業重点地域を地域ごとに作り、重点地域に対して農地中間管理事業や鳥獣害対策を推進していく。 ○農地中間管理事業の制度を分かりやすく周知していく。

実質化された人・農地プラン

（鳥獣被害防止対策の取組方針）

- 地域による鳥獣害対策（電気柵の設置や追い払い等）に取り組む。

（農地の保全への取組方針）

- 地区内の農業者や土地の所有者が一体となって農地の保全に取り組む。
- 農地付きの空き家は「空き家バンク」への登録を検討し、良好な自然環境を活かした移住者を集める。
- 所有者が亡くなっている農地は権利関係を整理して、農地管理を行える者に賃借又は売却を検討する。

（特産品や新規作物の導入）

- 地域ごとに特産品となる農作物を作り、所得向上につなげていく。

（農業者への支援）

- 地域のリーダーとなる農業者の育成を行う。

（その他）

- 嵯峨谷集落などの空き家を活用した定住移住を推進する地域においては、都市部から農業を志す移住者の受入れを促進する。
- ドローンやアシストスーツなどの新技術を活用した農作業への転換を図る。

5. 各集落からの意見（任意記載事項）

〈地区の課題〉

- 40年ほど前は農家が集落（55戸ほど）の8割、そのうち専業農家が6割以上で、水田と果樹栽培であった。今は集落70戸のうち、農家は15戸で、専業的農家9戸ほど。しかも全て65歳以上。兼業農家は5戸。ここ数年での離農が8戸。急速に農地が荒廃、遊休農地になった。
- 一部の農家を除き、農業の収益性は低く農業だけで生計が成り立たないのが実情。それが若い世代の就農の妨げになっている面が多分にあると思う。
- 子はいるが、農業では安定的な収入の保障がなく、農業に従事しない。
- 傾斜地が多く、農地の規模も小さいため、機械化が難しい。意欲的に取り組んでいる農業者であっても規模拡大を望む者はいない。

〈集約化に関する方針〉

- 地域内の意欲的な農業者とあるが、若い世代の就農者がほとんどおらず、年々高齢者が多くなっているのが現実。他地区からの農業者の受入れに当たっては、地元に対して十分な情報提供と調整が必要であると思います。
- 第三者機関を設置して関係者の相談・調整に応じる。
- 地区内の農業者の大半が70歳後半から80歳前半であって、若い農業者であっても50歳後半から60歳代で、若干名しかいない。その者たちでさえ現状維持が精一杯であるため、地区内の農地集約化は出来ない。

実質化された人・農地プラン

〈方針を実現するために必要な取り組み〉

- 農地保全の取り組みで「集落の農業者…」とあるが、高齢化により将来的には自己所有地の保全すら厳しいと考えられるので、行政の支援が求められる。
- 集約化するには国庫補助など、何らかの補助を利用しないと進まない。
- 地区の特徴を出し、魅力のある品種の導入を進める
- 農地を改良する。
- 限られた条件の良い遊休農地を若い農業意欲のある人に借りてもらいか移住してもらえる対策、又は地域内外の退職者で小規模でも農業してもらえる人に活用してもらえる対策が必要。
- 同居していても子世帯は会社勤めが多く、日常的に農作業をすることが困難。農地があっても放置するしかない状況が生まれるのは仕方がないと思います。
- 農地として使用するのであれば、農業者でない人に対してでも農地として売却できるようにできないか。

〈全体〉

- 農業者の高齢化は避けられない中、生産性向上、収益の改善等の対策も必要。また、プラン実行にあたって、高齢化する地元農家に負担がかからないような仕組みにしていきたい。
- 施設栽培や観光農園、農業体験など農業に魅力を持ってもらいたい。
- 遊休農地所有者に管理の徹底をお願いする。
- 共同で地域農地を管理できるシステムと補助の強化が必要で、そのためには今ある中山間地域制度の弾力的な運用を基本にプラン策定が必要。
- 販売単価を上げると自然と農業に興味を持つ人も増えると思うので、国が個々に支援することを望みます。
- 農地集約化による生産性の向上が唯一の対策と考えます。農地中間管理事業の活性化に期待します。
- 農作業応援隊を結成して、要請があれば稲刈り、下記の収穫などを手伝う（有料）。
- 農業の拡大をする者がおらず、現状維持が精一杯であり、農地の集約化は望めない。農業移住者を募るのが最善でないかと思います。ただし、農業移住者を募る場合でも、耕地整理や用水路の整備等、農業環境の整備が必要。
- 中山間地直接支払い交付金に加入することで、何とか維持していますが、もう限界が近いところが多くあると思います。傾斜地はクヌギなどの手間のかからない植物を植えてはどうか。
- 耕作放棄地に対して、行政や農業委員会がもっと強い指導を行うべき。
- 耕作できない農地には植樹や花を植えるなどの条件を付けてはどうか。

実質化された人・農地プラン

(参考) 中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引き受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農		水稲、施設果樹、露地果樹	254a	水稲、施設果樹、露地果樹	254a	応其、信太
認農		水稲、露地果樹	210a	水稲、露地果樹	210a	信太
認農		水稲、露地果樹	169a	水稲、露地果樹	169a	信太
認農		露地果樹、花き、林産物	116a	露地果樹、花き、林産物	134a	信太
認農		水稲、露地野菜、露地果樹	147a	水稲、露地野菜、露地果樹	147a	信太
認農		水稲、露地野菜	156a	水稲、露地野菜	335a	信太
認農		露地果樹	302a	露地果樹	302a	山田、信太
到達		露地果樹	15a	露地果樹	80a	信太
到達		露地野菜、露地果樹	31a	露地野菜、露地果樹	41a	信太
到達		水稲、露地野菜、露地果樹	233a	水稲、露地野菜、露地果樹	233a	信太
到達		水稲、露地野菜、露地果樹	321a	水稲、露地野菜、露地果樹	321a	信太
到達		水稲、露地果樹	176a	水稲、露地果樹	176a	信太
到達		露地果樹	175a	露地果樹	175a	信太
到達		水稲、露地果樹	243a	水稲、露地果樹	245a	信太
到達		露地果樹	29a	露地果樹	60a	信太
到達		露地果樹	215a	露地果樹	215a	信太
到達		水稲、露地果樹	160a	水稲、露地果樹	160a	信太
到達		水稲、露地果樹、花き	145a	水稲、露地果樹、花き	150a	信太
到達		水稲、露地果樹、花き	99a	水稲、露地果樹、花き	190a	高野口、信太
到達		露地果樹、加工品	192a	露地果樹、加工品	192a	応其、信太
到達		花き	231a	花き	231a	信太
到達		露地果樹	140a	露地果樹	150a	信太
到達		水稲、露地野菜、露地果樹	251a	水稲、露地野菜、露地果樹	251a	信太
到達		水稲、露地果樹	235a	水稲、露地果樹	120a	信太
到達		水稲、露地果樹	180a	水稲、露地果樹	180a	信太
到達		花き	121a	花き	121a	信太
26人		45.46ha		48.42ha		

※認農：認定農業者 / 到達：基本構想水準到達者

実質化された人・農地プラン

(参考) 地区内において意欲的に農業に取り組んでいく意向のある農業者

農業者	現状		備考
	経営作目	経営面積	
	水稲、野菜	61a	アンケート
	水稲、野菜、果樹	92a	アンケート
	水稲、野菜	132a	アンケート
	水稲、野菜、果樹	192a	意見書
	野菜、果樹	60a	意見書
	—	98a	意見書
	—	—	意見書
	水稲、野菜、果樹	299a	意見書
	—	101a	意見書
	—	167a	意見書
	—	150a	意見書
	水稲、果樹	139a	意見書
12人			